

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム ケアクオリティ草薙
(ユニット名)	1ユニット
所在地 (県・市町村名)	静岡県静岡市清水区草薙1丁目23番16号
記入者名 (管理者)	影山廣美
記入日	平成 20 年 7 月 29 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>理念「その日、その時、その一瞬を、愛と笑顔と輝きで」</p>	○	地域の方々との交流を持ち、その中で生きているという実感を味わえるよう支援していきたい
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>開設から2年経ち、職員の入れ替わりも有ったが、新職員が入社するたびに、理念に対してのホームでのあり方の説明を行い、みな心がひとつになって統一したケアが出来るよう努力している</p>	○	心を大事に一日一日を大事に支援している
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>家族会・運営推進会議等によりグループホームとしてのあり方を理解してもらえるよう話し合っている</p>	○	地域の方々、家族等交流を深められるよう今後も努力していきたい
2. 地域との支えあい				
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>挨拶等は欠かさずホームの存在が自然に地域に溶けあって近隣の方々とお付き合いが出来るよう努力している。先日もにわか雨で隣の方が「雨が降ってきたよ、洗濯物を入れなきゃ」と飛んで教えてくださったりしている</p>	○	現状での自然なお付き合いを大事にしていきたい
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会の集会、どぶ掃除、地域の防災訓練、老人会の公園掃除に参加、草薙神社お祭りの準備手伝いに参加</p>	○	現状を継続できるよう努力していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	電話、来訪での相談に応じている	○	電話、来訪での相談に応じている
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	具体的な改善の指示があれば直ぐ対応	○	具体的な改善の指示があれば直ぐ対応
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回の職員の名札の件が出ていた等を写真と資格等を貼り出したりと活かしている	○	前回の職員の名札の件が出ていた等を写真と資格等を貼り出したりと活かしている
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議を開催する際案内状を持参し手渡ししたり報告義務を実施している	○	運営推進会議を開催する際案内状を持参し手渡ししたり報告義務を実施している
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	相談により活用し支援している	○	相談により活用し支援している
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議を利用し話し合ったり、必要と感じた時は職員個人的に話し合ったりと防止に努めている	○	職員会議を利用し話し合ったり、必要と感じた時は職員個人的に話し合ったりと防止に努めている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> <p>理解と納得が得られるよう実施している</p>	○	理解と納得が得られるよう実施している
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>管理者は日祭日をなるべく出社し家族との報告交流対応できるよう努力し、苦情が出た時は即退所するよう動いている</p>	○	管理者は日祭日をなるべく出社し家族との報告交流対応できるよう努力し、苦情が出た時は即退所するよう動いている
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> <p>定期的にその家族家族にあわせ実施している</p>	○	定期的にその家族家族にあわせ実施している
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>管理者は家族の面会時常に話し合いが出来るよう機会を設けている</p>	○	家族からの遠慮ない、まるで私たちも家族の一員であるような言葉も聴かれ嬉しく思っている
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> <p>職員会議等で職員の自由な意見を言える機会を設けたり、意見交換できる場を設けたり、本社からの報告も怠り無く実施している</p>	○	職員会議等で職員の自由な意見を言える機会を設けたり、意見交換できる場を設けたり、本社からの報告も怠り無く実施している今後も継続
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> <p>家族が日時指定で管理者との面会要望があれば、休日変更で利用者様家族の都合にあわせる努力と、職員も個々に話し合い調整に努めている</p>	○	家族が日時指定で管理者との面会要望があれば、休日変更で利用者様家族の都合にあわせる努力と、職員も個々に話し合い調整に努めている
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>職員のホーム内での移動に関しては利用者様も自由に1, 2階を自由に移動しているのであまり問題は無いが、今後もダメージを防ぐ努力は惜しまない</p>	○	職員のホーム内での移動に関しては利用者様も自由に1, 2階を自由に移動しているのであまり問題は無いが、今後もダメージを防ぐ努力は惜しまない

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本社の社内研修参加とホームでの新人指導研修を、管理者のみでなく職員全員で出来るよう努力、研修記録実施、職員会議での勉強会も開催している。職員個々の得意分野を活かしたりよい点を伸ばし自信を持って仕事に関れるよう、見守りながら実施している	○ 本社の社内研修参加とホームでの新人指導研修を、管理者のみでなく職員全員で出来るよう努力、研修記録実施、職員会議での勉強会も開催している。職員個々の得意分野を活かしたりよい点を伸ばし自信を持って仕事に関れるよう、見守りながら実施している
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他グループホーム管理者、ケアマネ、オーナー等との交流あり	○ 他グループホーム管理者、ケアマネ、オーナー等との交流あり、今後も継続
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	1年に1回ほどの飲み会実施したり、しょくいんの要望あれば、出掛けたり職員とのコミュニケーションを図れるよう努力しています	○ 1年に1回ほどの飲み会実施したり、しょくいんの要望あれば、出掛けたり職員とのコミュニケーションを図れるよう努力しています今後も継続
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	仕事に対しての意欲向上が図れるよう、個々の有する能力行動に対して、ほめてあげることで自信に繋げるよう努力している	○ 仕事に対しての意欲向上が図れるよう、個々の有する能力行動に対して、ほめてあげることで自信に繋げるよう努力している。職員会議での勉強会に欠席した職員には、マンツーマンでその資料を基に出勤時勉強会実施
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者様との面会時、ご本人の言い分等言える状況までゆっくり待ち、受け止める努力をしている	○ 利用者様との面会時、ご本人の言い分等言える状況までゆっくり待ち、受け止める努力をしている
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の不安、悲しみ苦しみ等傾聴姿勢にて受け止める努力をしている	○ 家族の不安、悲しみ苦しみ等傾聴姿勢にて受け止める努力をしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントにより対応、他サービスはその状況に応じて対応	○	アセスメントにより対応、他サービスはその状況に応じて対応
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	個々の情報、家族からの情報を基に、職員との話し合いが行われ実施できるように、その方らしくいていただけるよう実施している	○	様子を見ながら、その方の望む方向を職員みなで探りあいながら、納得のいく役割とか、行動をしていただけるよう実施している
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者様を放っておくことがなく、本当の家族以上に密着し、利用者様に教えられたり、笑い声がいつもホーム内に聞こえる努力をし、不穏な時はそれなりに受け止める努力をしている	○	利用者様を放っておくことがなく、本当の家族以上に密着し、利用者様に教えられたり、笑い声がいつもホーム内に聞こえる努力をし、不穏な時はそれなりに受け止める努力をしている
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時、ケアカンファレンスを実施する時は、一緒に考え一緒に支えていこうと努力している	○	家族の面会時、ケアカンファレンスを実施する時は、一緒に考え一緒に支えていこうと努力している
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の不安、悲しみ苦しみ等傾聴姿勢にて受け止める努力をしている	○	家族の不安、悲しみ苦しみ等傾聴姿勢にて受け止める努力をしている
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会は自由に利用者様のご近所の友人たちの訪問も自由に出来るようになっている	○	面会は自由に利用者様のご近所の友人たちの訪問も自由に出来るようになっている。今後も継続
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	同じ屋根の下に住む住人としての個々の個性も活かし、レクリエーション参加等により1ユニット2ユニットと区別が付きなく係わり合いをもてるように努力している	○	同じ屋根の下に住む住人としての個々の個性も活かし、レクリエーション参加等により1ユニット2ユニットと区別が付きなく係わり合いをもてるように努力している。今後も継続

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去となった家族も連絡があれば相談に応ずる努力をしている	○	退去となった家族も連絡があれば相談に応ずる努力をしている
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の言い分、苦悩をなるべく早くキャッチし、穏やかに日々を過ごせるよう努力しているが、出来ないこと状況になることも有り、常に考えさせられることあり	○	利用者様の言い分、苦悩をなるべく早くキャッチし、穏やかに日々を過ごせるよう努力しているが、出来ないこと状況になることも有り、常に考えさせられることありますが、努力していきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	昔の思い出の写真等で思い出の共有を図ったりの努力をしている	○	昔の思い出の写真等で思い出の共有を図ったりの努力をしている
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者様の役割分担をしていただいたり、自己の存在の意義を自覚してもらえるよう実施している	○	利用者様の役割分担をしていただいたり、自己の存在の意義を自覚してもらえるよう実施しているが、もっと工夫が必要かなと思われることも有り課題はある
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	管理者・ケアマネ・職員・利用者様・家族のケアカンファレンス実施し、要望に応じられるよう無理なく計画によりよい方向に利用者様が生活できるよう実施している	○	管理者・ケアマネ・職員・利用者様・家族のケアカンファレンス実施し、要望に応じられるよう無理なく計画によりよい方向に利用者様が生活できるよう実施している。今後も継続
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	取り組んでいる	○	取り組んでいる

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	取り組んでいる	○	取り組んでいる
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	取り組んでいる	○	取り組んでいる
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	静岡サレジオ学園生徒さんたちの協力、市民活動のボランティア、消防署等,その状況に応じ協力していただいている	○	静岡サレジオ学園生徒さんたちの協力、市民活動のボランティア、消防署等,その状況に応じ協力していただいている
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	取り組んでいる	○	取り組んでいる
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議、しみず・ホットネット開催の参加、情報交換	○	運営推進会議、しみず・ホットネット開催の参加、情報交換
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在、往診の形になり、他主治医を持つ方は家族対応	○	現在、往診の形になり、他主治医を持つ方は家族対応

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	常に相談できる状況にあります	○	常に相談できる状況にあります
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護ステーションの看護師による週1回の訪問実施	○	訪問看護ステーションの看護師による週1回の訪問実施
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	連携している	○	連携している
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	共有している	○	共有している
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	取り組んでいる	○	取り組んでいる
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	取り組んでいる	○	取り組んでいる

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	言葉かけに気をつけ個々の性格に合わせてのプライバシーを尊重する姿勢で取り組んでいる	○ 言葉かけに気をつけ個々の性格に合わせてのプライバシーを尊重する姿勢で取り組んでいる。今後も継続
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	仕事を希望すれば役割をしていただいたりと、納得して下さるよう話し合い等行いながら実施している	○ 仕事を希望すれば役割をしていただいたりと、納得して下さるよう話し合い等行いながら実施している
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方に合わせたペースで支援している	○ その方に合わせたペースで支援している。今後も継続
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	声掛けにより支援している	○ 声掛けにより支援している
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	声掛けにより支援している	○ 声掛けにより支援している
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	声掛けにより支援している	○ 声掛けにより支援している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	声掛けと誘導により支援している	○	声掛けと誘導により支援している
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	声掛けと誘導により支援している	○	声掛けと誘導により支援している
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	声掛けと誘導により支援している	○	声掛けと誘導により支援している
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割を持つことにより生きがいを持っていただくよう支援している	○	役割を持つことにより生きがいを持っていただくよう支援している
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一緒に買物に出掛けたりした時は自分のお財布から支払うなどの支援をしている	○	一緒に買物に出掛けたりした時は自分のお財布から支払うなどの支援をしている
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	車でドライブ、七夕祭り、花見、美術館見学、草薙駅前まで買物等でかけている	○	車でドライブ、七夕祭り、花見、美術館見学、草薙駅前まで買物等でかけている
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お墓参り、買い物、食事等家族との外出も実施している	○	お墓参り、買い物、食事等家族との外出も実施している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話取次ぎ、郵便配達等実施している	○	電話取次ぎ、郵便配達等実施している
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	友人、近所のなじみの方の訪問があります	○	友人、近所のなじみの方の訪問があります
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいる	○	取り組んでいる
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	取り組んでいる	○	取り組んでいる
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	目配り、気配りを実施している	○	目配り、気配りを実施している
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	取り組んでいる	○	取り組んでいる
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	取り組んでいる	○	取り組んでいる

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	取り組んでいる	○	取り組んでいる
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議等での協力要請を実施している事と、地域の防災訓練時地域の誘導班の誘導により避難訓練が実施されている	○	運営推進会議等での協力要請を実施している事と、地域の防災訓練時地域の誘導班の誘導により避難訓練が実施されている
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	面会時、随時話し合っている	○	面会時、随時話し合っている
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェック、排泄チェック、水分摂取量、食事摂取量チェック表により情報を共有し対応している	○	バイタルチェック、排泄チェック、水分摂取量、食事摂取量チェック表により情報を共有し対応している
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	対処している	○	対処している
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表、運動等により取り組んでいる	○	排泄チェック表、運動等により取り組んでいる
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝・昼・夕食後に実施している	○	朝・昼・夕食後に実施している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	支援している	○	支援している
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防対策委員が決められていて、消毒等の対策も行われている	○	感染予防対策委員が決められていて、消毒等の対策も行われている
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日食材の買物が実施されており新鮮なものを摂取していただくよう取り組んでいる	○	毎日食材の買物が実施されており新鮮なものを摂取していただくよう取り組んでいる
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先もスロープを広げる等の工夫をしたり安全な取り組みをしている	○	玄関先もスロープを広げる等の工夫をしたり安全な取り組みをしている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員が常に目配り等を実施し工夫している	○	職員が常に目配り等を実施し工夫している
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	工夫している	○	工夫している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自由にお使いいただいています	○	自由にお使いいただいています
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	配慮している	○	配慮している
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	工夫されている	○	工夫されている
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	声掛けや役割分担、誘導により自立を目指して暮らしていただいている	○	声掛けや役割分担、誘導により自立を目指して暮らしていただいている
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑を耕したり、収穫したり、ベランダへ出での外での食事をしたり、活動できるようにしている	○	畑を耕したり、収穫したり、ベランダへ出での外での食事をしたり、活動できるようにしている

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

グループホームの真の目的である、地域密着型を実践していきたいし、其れに対しての努力を惜しむものではありません。草薙のホームは笑い声が絶えないね、いつも利用者様たちの明るい輝いた顔が観られるねと、地域の人々にも施設のイメージでなく普通の家庭として受け入れられるよう職員一同心をひとつにして努力していきたいと思います